

苫小牧市総合教育会議議事録

会 議 名	平成27年度 第1回 苫小牧市総合教育会議
日 時	平成27年4月24日 自 14時00分 至 14時15分
場 所	市役所本庁舎第2委員会室
出 席 者	市 長 岩 倉 博 文 教育委員長 上 原 毅 教育委員 佐 藤 郁 子 教育委員 佐 藤 守 教育委員 植 木 忠 夫 教 育 長 和 野 幸 夫
欠 席 者	
事 務 局	教 育 部 長 松 浦 務 教 育 部 次 長 荒 物 屋 貢 一 総 務 企 画 課 長 釜 田 直 樹 総 務 企 画 課 総 務 係 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 前 田 亜 矢 子 政 策 推 進 課 長 小 名 智 明 政 策 推 進 課 主 査 長 谷 川 卓
協 議 事 項	(1) 苫小牧市総合教育会議設置要綱(案)について (2) 苫小牧市教育大綱(仮称)策定スケジュールについて (3) その他
会 議 の 経 過 概 要	別紙のとおり

1 開会の宣言 . . . 14時00分
(岩倉市長) それでは定刻になりましたので、平成27年度第1回苫小牧市総合教育会議を開催させていただきます。
市長の岩倉であります。よろしくお願いいたします。本来であれば、起立してスタートしなければならないのですが、着席のままでよろしいでしょうか。それでは、着席のままで進めさせていただきます。
本日、第1回目の総合教育会議の開催を迎えることとなったわけであり。ご存知のとおり、本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、新たに設置されたものであります。市長であります私が教育委員会と連携して、教育の大綱の策定などを通して、本市の教育政策の方向性を創り上げ、教育の振興あるいは充実を図っていくほか、児童生徒の緊急事態への対応に臨むなど、その重大な責務につきましては、認識をいたしております。
これまでも苫小牧市では、教育委員の皆様とさまざまな対話を重ね、ご協力やご尽力いただいておりますが、このような正式な位置づけの中での対話をさせていただき、議論を深める場ができたということは大変意義深いと考えておりますし、この会議におきましても、本市の教育行政を推進する上での諸問題に対し、皆様から忌憚のない自由なご意見を出していただきまして、協議を図ってまいりたいと考えております。
最初の会議でありますので、上原教育委員長からも一言お願いし、協議を進めていきたいと思っておりますので、上原委員長よろしくお願いいたします。
(上原委員長) 今、市長の方から話がありましたように、教育委員長に就任した時に市長との懇談会を持ちたいとのことで、話をさせていただきました。その後、市長に大変なご協力をいただいて、いろいろな意見交換をさせていただきました。今話がありましたように、今回、正式に法律上規定をされましたので、この会議を通じまして、市長と委員会が協議・調整することによって、お互いに本市の教育政策の方向性

を共有する、そして一致して執行に当たるということが可能になったわけであります。また、市民にとりましても、苫小牧市としての教育政策の方向性が明確になるわけですので、大変意義のあることではないかなと思っております。そして、引き続き委員会は、最終的な執行権限を持つ執行機関でありますので、活発に意見交換を行いまし、この会議が有意義な場となることを期待したいと思います。どうかよろしく願いいたします。

(岩倉市長) ありがとうございます。議会でも何度か質疑があったのですが、基本的に、これまで市長は教育行政に対して執行権はゼロ、予算権と人事権を持つという枠組みでずっと来たわけであります。今回、法律の一部改正によりましても、執行権は引き続き教育委員会ということであります。しかし、こうしたオフィシャルな場で市長と教育委員の皆さんとの協議・調整の場ができたということは、大変意義深いという意味で、私自身、市長としてもそのことを十分踏まえて教育行政についての議論をさせていただきたいと思っておりますので、ぜひそのことはお含みおきをいただきたいと思います。それでは早速ですが、会議次第に従いまして、本日の協議に入りたいと思っております。

2 協議事項

(1) 苫小牧市総合教育会議設置要綱（案）について

(次長) -苫小牧市総合教育会議設置要綱（案）について説明-

(岩倉市長) ただいま要綱案の説明がございましたが、ご質問あるいはご意見がありましたらいただきたいと思います。これは、スタンダードなものがある、それを参考にしながらつくったということですか。

(次長) 基本的には、そうです。

(岩倉市長) 特にないですか。特になければ、協議終結ということによろしいですか。
(一同「はい」の声)
(岩倉市長) それでは、苫小牧市総合教育会議設置要綱(案)について、協議を終結いたしました。今後は、会議について本要綱に沿って運営を進めていくこととなりますので、それによろしいですか。
(一同「はい」の声)
(2) 苫小牧市教育大綱(仮称)策定スケジュールについて
(次長) -苫小牧市教育大綱(仮称)策定スケジュールについての説明-
(岩倉市長) 今の説明につきまして、ご意見・ご質問がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。
(上原委員長) 1点だけなのですが、先の議会の中で、教育大綱といいますか、スケジュール等について随分質疑があったように記憶しているのですが、その時に答弁された中で、できるだけ早い時期にということでは確か答弁されたと思いますが、そちらの方とのスケジュールの兼ね合いが、妥当かどうかお伺いしたいです。
(次長) 先の議会等でも議論がございました。まずは総合教育会議では大綱を策定するところから始まるかと思えます。その中で、今お示しさせていただきましたが、第2回目の総合教育会議が6月から7月に開催されます。大綱は、最終的には市長から提出する案という形になりますが、まずはたたき台を出させていただいた後、この会議の中で協議・調整をしていただくこととなります。できるだけ早くとい

うことでは、秋口までには、まず大綱を策定できればよろしいのかなということで、この説明をさせていただきました。

(上原委員長) わかりました。

(岩倉市長) 秋口をめどにということですが、そもそも、苫小牧市教育大綱の位置づけは、今回この会議の設置の背景になっている「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づくものと考えていいと思います。そうすると、この会議を設置した各市町村では、同じようなプロセス、つまり、まずは大綱を示すという事になるわけですね。

(次長) 詳しくは調べていませんが、各自治体によって、ある程度の大綱的なものができているところは、スムーズに第1回目の会議からお示しができたのだろうと思います。苫小牧市の場合には、大綱の作成を一から進めていかなければならないという考え方から、このようなスケジュールを示させていただきました。場合によってはスケジュールが早まるかも知れませんが、まずは、遅くても秋までには大綱を策定していただければと思っております。

(岩倉市長) その他、ございませんか。特になければ、苫小牧市教育大綱(仮称)策定スケジュールについて協議を終結したいと思います。ただいま示されたスケジュールで進めていくことに対してご了承いただけますか。

(一同「はい」の声)

(岩倉市長) ありがとうございます。それでは、そのような枠組みで、秋口をめどにということで準備を進めてまいりたいと思います。

(3) その他

(岩倉市長) 最後に、その他ということですが、もし何かございましたらご発言をお願いしたいと思います。

(一同「なし」の声)

2 閉会の宣言・・・14時15分

(岩倉市長) 今日は第1回ということですので、総合教育会議を設置し、基本的な第一歩であります大綱策定及びそのスケジュールについて、皆さんに合意をしていただきました。これにて、第1回を終了させていただきたいと思います。これから総合教育会議でいろいろお世話になりますが、よろしくお願いを申し上げまして、締めたいと思います。ありがとうございました。